

県議員 奥村のり子 の
しんぶん赤旗 読者ニュース

2019年7月28日 第366号
 —奥村のり子生活相談所—

〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場 1-11
 ☎ & FAX 073-427-7121
 Eメール w-jcpken@naxnet.or.jp



**参議院選挙お疲れ様でした
 共感と激励を次期衆院選の力に**

暑中お見舞い申し上げませす。参議院選挙でもにたたかかった読者のみなさん、お疲れさまでした。比例代表では和歌山市で日本共産党へは12、742票、選挙区では野党統一候補の藤井みきお氏に4、0175票のご支持がありました。私たちの代表として自公政権と真正面から戦った候補者のみなさんに心から感謝を申し上げたいと思います。自公政権への怒りが共有

でき、「憲法守り、命暮らしを守る政治を」求め、多くの方から共感と激励をいただいたことに、次期衆院選へのエネルギーになっていきます。成果を確信に、悔しさをバネに、「どんな情勢のもとでも前進できる力を持つ党、共闘を大事にしながら頑張る党」をみなさんの支えの中で

つくってゆきたいと思えます。そのためには、もっともっと「しんぶん赤旗」がくらしの中に広まるようみなさんのお力をお借りし、頑張ってくださいます。ぜひご協力よろしくお願ひ申し上げます。
 (奥村のり子)



のり子の週刊日誌 (主なもの)

- 7月26日 市駅前・宇治交差点宣伝 地域訪問
- 27日 自治研総会
- 28日 地域訪問
- 29日 河西無料生活相談 地域訪問
- 30日 会議
- 31日 地域訪問
- 8月1日 市駅前無料生活相談

**自民党の絶対得票率は2割以下で最低
 3社の世論調査で「改憲」は33.7%!**

投票率が過去2番目に低い参院選でアベ首相は「国民から力強い信任をいただいた」と強気で、「少なくとも議論を行うべきだ」という国民の審判が下った」と改憲に前のめり姿勢です。だが国民の半数も投票していない超低投票率の結果で有効投票で見ると自民党は絶対得票率で16.7%、選挙区では18.97%でどちらも2割以下。これは2012年末に安部政権が復帰して以降行われた国政選挙では最低でした。メディアからも「全有権者の5人に一人以下の支持しか得ていない計算だ。これでは民主主義の基本とされる『多数決』『多数派による支配』ではなく『少数決』『少数派支配』である」(山陰中

央新報社説)などの批判があがっています。民意は改憲ではなく社会保障であることが各種の世論調査からくつきりです。「朝日」「読売」「共同通信」が投票直後の7月22、23日に行った調査です。「朝日」は「安部首相に一番力を入れてほしい政策」は「年金などの社会保障」38%で「憲法改正」は3%。「読売」は「今後安部内閣に、優先的に取り組んでほしい政策」は、「年金など社会保障」41%で「憲法改正」は3%。「共同」の調査は「安部内閣が今後、優先して取り組むべき課題」は8項目で二つまで回答方式で「年金・医療・介護」が48.5%で「憲法改正」は6.9%でした。国民の大半は社会捕食希望で改憲は最下位と明白なのに、アベ晋三という人はなにを見て政治をしているのでしょうか? 頭の中は9条と自衛隊でいっぱいなのでしょうか?(編集室)

**党市議会議員
 南畑さち代**



現在、和歌山脈に計画予定のメガソーラーが5つあります。その内、「和歌山市環境と大規模な太陽光発電設備設置事業との調和に関する条例」の対象となっているのは有功地域と楠見地域の計画の2つです。有功地域のメガソーラーについては、先の5月の臨時議会でも有功地区連合自治会を含む5地区連合自治会から「議会として反対の決議を求めるとの決議」が出され、請願採択と議員発議が33人の賛成で可決されています。

楠見の太陽光発電計画でも反対決議可決!



7月3日市議会でメガソーラー請願が多数決で可決

れ、23日の本会議において34人(1名の増は井本有一議員)の賛成で請願及び議会として「住民の同意を得ない太陽光発電施設の建設に対する反対決議案も可決されました。

加えて市議会として、県知事及び県議会に対し、「和歌山系においておよそ300haの計画が急浮上している。多くの市民が不安を抱えたまま計画が進められることのないよう、市民の安全安心の確保が保障されるよう、和歌山県太陽光発電事業の実施に関する条例に基づく申請、森林法に基づく林地開発許可申請の審査にあたり、判断されることを強く求めるものである」との概要で意見書案も採択されました。議案採択については100名を超える市民の方が傍聴されました。多くの力を結集し、危険性のあるメガソーラー計画を撤回させましょう!

撤回させましょう!

